



印刷部数 102,200部 発行人・編集人 吉川 豊

東京土建一般労働組合  
東京都新宿区北新宿1-8-16  
電話03 (5332) 3971 (代表)  
FAX03 (5332) 3972  
ホームページ  
https://www.tokyo-doken.or.jp/



定価 五十円  
(年間購読料 千八百円)  
購読料は組合費のなかに含まれています

**本部大会特集号 各面に関連記事**  
止まらない物価高騰、戦争と混乱の世界情勢下で、私たちの仕事とくらしは危機的な状況にあります。優れた経験を共有し、働く者の団結を固めるために、各支部の仲間が一堂に会しました。

**第79回 定期大会**  
**仲間を支え、仲間を信じ、仲間を増やす**

「仲間を支え、仲間を信じ、仲間を増やし組織建設を進めよう！団結をして要求を実現し、建設労働者・建設産業に魅力ある未来を切り開こう！」を掲げて、3月15日と16日の2日間、熱海後楽園ホテルをメイン会場に第79回定期大会を開催しました。

**建設業の魅力ある未来を**

**団結して切り開こう**



全体会議場の後楽園ホテルに集った代議員と特別代議員の仲間たち。登壇者の報告提案に拍手で応える

代議員285人、特別代議員171人、本部役員19人、来賓25人、計500人が参加しました。大会議長には辻岡邦之さん(西多摩)、藤原延行さん(品川)、角毅征さん(町田)、大会書記長に沼口剛さん(港)を選出。冒頭、中村隆幸委員長が中央執行委員会を代表してあいさつしました。(2面に掲載)

北川誠太郎書記長による基調報告を受けた後、多摩西部支部より、建設アクションが要求実現に結び付いた経験、村山大和支部より、「拡大できる支部」建設について先進的な取り組みが報告され、大会議長を補強しました。質疑では、事前の動画視聴と支部の代議員会議を経て出された事前質問が54本ありました。「短・中期目標の設定など拡大方針についての質問や本部費引き上げに関する質問などに対して、全体会と分科会において、あらかじめ配布された質疑応答まとめに基づき答弁がなされました。40の会場に分かれて行なわれた分散会では参加者全員に発言を促すなかで、群の活性化と事業所への対応、ガソリン代高騰などの現状、請求要求の実践について多くの意見が交わされました。

**大会初参加者の声**



藤巻さん

**分散会で仕事の情報交換できた**

【多摩西部・造園土木・藤巻智子さん談】今回女性の会の会長として、初めて本部大

会に参加しました。分科会は税金対策に出ました。毎年支部で確定申告学習をしますが、税制も頻りに改悪されて難しいことも多く、知らなかったことや運動の意義が分かり勉強になりました。夫は大工で個人事業主。インボイスは新たな増税で、2割特例の廃止も相まり大変です。住友リフォームの仕事を請けていますが、分散会では

各専門分野に分かれた分科会は、2日目の朝から行なわれ、各分科会議長が本会議で議論の経過を報告しました(3・4・5・6面に掲載)。び方針に理解を示す議員と会派を増やすアクション運動」を全支部で取り組むことを確認。あわせて、平和でこそ生活と仕事を守られるという先人たちの思いを引き継ぎ、安定した財政基盤の構築のため本部費200円引き上げについても承認されました。

**「今は賃上げの最高の山場だ」**

本大会では、組織機能の強化と11万人復活にむけた「短・中期計画」に連動した運動方針として、請求・要求・交渉の大運動や深刻な人手不足解決に向けた5つの事業展開、厳しい建設国保を取り巻く情勢を打開する大衆運動の強化と共済推進による「安定した生活」の実現、仲間の要求実現のための自治体交渉及び



表彰で名誉中執を称える中村委員長

住友の仕事で25年やっている方から情報ももらえました。情報交換が組合活動の中でもできればと感じました。

**後継対の活動にこの経験活かす**

【世田谷・造園・麓公(ふもとあきら)さん談】他支部



麓さん

の方々が非常に活発に活動されているという印象を受けました。支部では後継者対策部長をやっていますので、部を引っ張っていくうえでよく勉強になりました。昨年は分会経験交流集会にも参加したのですが、提案されていた、支部版の分会経験交流集会の開催についても、やっていけたらと思います。夜は、支部やフロックのみなさんと楽しく交流できました。大会での経験を新年度に活かしていきます。

■今、国会前集会の雰囲気が一変している。約10年前より、平和と、憲法に

**朝やけ**

もつづいた政治を求めて毎月開かれてきたが、その顔ぶれがガラリと変わった。今や圧倒的多数は若い世代、特に女性だ。手にペンライトなどの光るものを持って集まってきている。

■3月25日、主催者の音声が届かない場所まで人があふれ、そこでも「戦争反対」「改憲反対」などと自然発生的に声が上がった。すれ違い様に誰かが発声し、周りが合わせて声を重ねる。そんな光景がここで見られた。集まっているのは組織的な人々ではない。つまり普通の市民だ。

■2月に国会前に集ったのは千人だった。それが8千人、1万1千人と回を追うごとに増え、3月25日には、雨にもかかわらず2万4千人にふくれ上がった。米国のイラン攻撃が2月末、高市首相の日米首脳会談が3月19日だ。これらの動向に強い危機感を抱き、居ても立ってもいらなくなってきたのだろう。当然だ。

■集会は、歌手の坂本美雨さんもスピーチするなか、最後はリズムにのせてコール&レスポンスとなった。政府は強い関心をもって窓の外を注視しているはずだ。SNSで爆発的に広がりはしないか、世論や支持率の流れが逆転しやしないか、と。次回開催の参加規模に注目が集まる。

# 平和であつてこそ成り立つ 地域支える建設産業

東京土建第79回定期大会にご参加いただき、心から感謝申し上げます。

今、私たちの生活は、かつてないほどの厳しさに直面しています。その中で東京土建

は、仲間の命とくらし、そして重要な改正です。私たちは、労務費の基準の徹底、適正な価格転嫁の実現、賃上げと週休2日化の前進を強く訴えています。そして、建設労働者の処遇改善に欠かせないC

USの普及促進にも力を注いできました。26春闘では、「請求要求を自らの手で」を合言葉に、仲間の実践を後押ししています。働きが正当に評価される社会をつくるため、更に前進しなければなりません。

組織建設では「早期の11万人組織回復」を掲げ、結成80周年も見据えて運動を進めてきました。春・秋の拡大月間の目標を達成できたのは、仲間の皆さんとご家族の力によるものです。心から感謝申し上げます。組織の力が仲間の要求を実現する。この事を改めて確認したいと思ひます。

建設アスベスト訴訟では、昨年、東京一・二陣において主要被告メーカーとの和解が成立しました。提訴から17年。長い闘いの末に勝ち取った前進です。この成果は、後の裁判闘争にも確かな影響を与えています。今年2月には、原告・弁護士・組合から約300人が集まり団結を確認しました。私たちはこの勝利を力に、給付金法の改正を含め運動を強めます。

建設国保を取り巻く状況は深刻です。2025年には団塊の世代が後期高齢者医療制度へ移行し、拠出金は増え、補助金は削減される仕組みが続いています。4月からは「子ども・子育て支援金」による負担増も見込まれます。昨年から保険証が発行・使用できなくなりまし。誰もが安心して医療を受けられる仕組みを守るため声を上げ続けま。2月8日の衆院選では、自

民党が単独で定数の3分の2を超える議席を獲得しました。しかし、物価対策や消費税減税といった生活に直結する課題は、選挙後も具体化していません。一方で、憲法改正の議論を急ぐ姿勢が示されています。この動きを注視し、声を上げていく必要があります。今年には地方自治体の首長・議員選挙が控えています。公契約条例の制定をはじめとする私たちの要求を投票行動につなげま。

今、インボイス制度の導入、実質賃金の低下、国民負担率の上昇、生活は厳しさを増すばかりです。その中で、子ども食堂をはじめ、地域貢献活動に積極的に取り組んだことは、「地域と仲間の力になりたい」という熱い思いの表れです。これからも地域に根差し、仲間へ寄り添う東京土建を更に進めます。今年、日本国憲法が公布され80年を迎えます。日本は「戦争をしない・させない」という原点に立ち返るべきです。先代たちが語った、「平和であつてこそ建設産業は成り立つ」この言葉を、今改めて皆で確認したいと思ひます。地域の災害にいち早く対応できる建設産業を守り、若者が選びたいと思える魅力ある産業をつくる。そのために、組織の増勢と活性化を進めていかなければなりません。最後に本大会の成功と、運動方針への団結と奮闘を心よりお願い申し上げます、執行部を代表してのあいさつといたします。



開会あいさつをする中村委員長

重要な改正です。私たちは、労務費の基準の徹底、適正な価格転嫁の実現、賃上げと週休2日化の前進を強く訴えています。そして、建設労働者の処遇改善に欠かせないC

USの普及促進にも力を注いできました。26春闘では、「請求要求を自らの手で」を合言葉に、仲間の実践を後押ししています。働きが正当に評価される社会をつくるため、更に前進しなければなりません。

組織建設では「早期の11万人組織回復」を掲げ、結成80周年も見据えて運動を進めてきました。春・秋の拡大月間の目標を達成できたのは、仲間の皆さんとご家族の力によるものです。心から感謝申し上げます。組織の力が仲間の要求を実現する。この事を改めて確認したいと思ひます。

建設アスベスト訴訟では、昨年、東京一・二陣において主要被告メーカーとの和解が成立しました。提訴から17年。長い闘いの末に勝ち取った前進です。この成果は、後の裁判闘争にも確かな影響を与えています。今年2月には、原告・弁護士・組合から約300人が集まり団結を確認しました。私たちはこの勝利を力に、給付金法の改正を含め運動を強めます。

建設国保を取り巻く状況は深刻です。2025年には団塊の世代が後期高齢者医療制度へ移行し、拠出金は増え、補助金は削減される仕組みが続いています。4月からは「子ども・子育て支援金」による負担増も見込まれます。昨年から保険証が発行・使用できなくなりまし。誰もが安心して医療を受けられる仕組みを守るため声を上げ続けま。2月8日の衆院選では、自

民党が単独で定数の3分の2を超える議席を獲得しました。しかし、物価対策や消費税減税といった生活に直結する課題は、選挙後も具体化していません。一方で、憲法改正の議論を急ぐ姿勢が示されています。この動きを注視し、声を上げていく必要があります。今年には地方自治体の首長・議員選挙が控えています。公契約条例の制定をはじめとする私たちの要求を投票行動につなげま。

今、インボイス制度の導入、実質賃金の低下、国民負担率の上昇、生活は厳しさを増すばかりです。その中で、子ども食堂をはじめ、地域貢献活動に積極的に取り組んだことは、「地域と仲間の力になりたい」という熱い思いの表れです。これからも地域に根差し、仲間へ寄り添う東京土建を更に進めます。今年、日本国憲法が公布され80年を迎えます。日本は「戦争をしない・させない」という原点に立ち返るべきです。先代たちが語った、「平和であつてこそ建設産業は成り立つ」この言葉を、今改めて皆で確認したいと思ひます。地域の災害にいち早く対応できる建設産業を守り、若者が選びたいと思える魅力ある産業をつくる。そのために、組織の増勢と活性化を進めていかなければなりません。最後に本大会の成功と、運動方針への団結と奮闘を心よりお願い申し上げます、執行部を代表してのあいさつといたします。

## 新中央執行委員会

- 《中央執行委員長》 中村 隆幸(杉並)
- 《中央副執行委員長》 石川 信一(北)
- 渡辺 義久(三鷹武蔵野)
- 石村 英明(府中国立)
- 佐藤 豊(目黒)
- 川口 敏彦(調布)
- 《書記長》 北川 誠太郎(世田谷)
- 《書記次長》 木村 潮人(江戸川)
- 熊切 健二(杉並)
- 山本 高明(中野)
- 黒木 強(多摩・稲城)

- 《常任中央執行委員》 土橋 弘典(豊島)
- 井澤 典一(大田)
- 阿部 秀晴(中野)
- 檜山 剛志(多摩西部)
- 上原 誠(練馬)
- 津田 宗久(荒川)
- 徳山 英成(江戸川)
- 矢吹 一幸(八王子)
- 小坂 剛(西東京)
- 後藤 英雄(葛飾)
- 市川 亨(西多摩)
- 《専従常任中央執行委員》 佐藤 正雄(中野)
- 実川 英治(江東)

- 御崎 誠人(港)
- 砂川 恵(清瀬久留米)
- 田村 彰宏(世田谷)
- 大房 孝朗(多摩西部)
- 吉川 豊(文京)
- 佐藤 広平(豊島)
- 伊藤 仁(八王子)
- 《中央執行委員》 小野 清(足立)
- 小野 賢一(荒川)
- 井岡 進(葛飾)
- 佐藤 郷志(文京)
- 寺山 邦裕(台東)
- 藤川 善清(墨田)
- 富樫 康弘(江東)

- 田嶋 隆人(江戸川)
- 成瀬 晃一(板橋)
- 宮本 卓廣(豊島)
- 岡村 茂寿(北)
- 伊藤 慶一郎(練馬)
- 出井 章史(港)
- 小林 紀久夫(品川)
- 平林 諭司(大田)
- 佐藤 忍(目黒)
- 小倉 常良(渋谷)
- 服部 達朗(世田谷)
- 半澤 信司(新宿)
- 深石 武史(中野)
- 縫村 信秋(杉並)
- 島村 新(三鷹武蔵野)
- 今村 真治(狛江)
- 伊野 里美(調布)
- 木下 和成(多摩西部)
- 辻岡 邦之(西多摩)

- 南雲 正博(小金井国分寺)
- 松本 勇一(府中国立)
- 太田 克宏(八王子)
- 高木 一(日野)
- 三橋 誠(多摩・稲城)
- 尾花 慎司(町田)
- 井上 清一(小平東村山)
- 小田澤 陽一(清瀬久留米)
- 島崎 慶一(西東京)
- 亀澤 明子(村山大和)
- \*書記、ブロックより1人 吉田 和馬(東部)
- 釜谷 邦朗(江東)
- 井口 和良(城北)
- 沼口 剛(南部)
- 菊池 亮(西部)
- 佐々木 建(多摩東)
- 小野寺 和也(多摩西)
- 角 毅征(多摩南)

- 本島 厚司(多摩北)
- 《常任中央執行委員待遇》 秋元 一樹(府中国立)
- 君塚 徳子(町田)
- \*専従常任中央執行委員待遇 小番 徹(北)
- 中村 哲郎(西東京)
- 栗橋 宏(墨田)
- 山本 繁樹(江東)
- 小嶋 和俊(府中国立)
- 《中央執行委員待遇》 小野瀬 有香(江東)
- 峰島 啓蔵(江戸川)
- 《会計監査》 日原 敏也(大田)
- 栗林 弘行(杉並)
- 橋本 成彦(小金井国分寺)
- \*任務分担任は次号に掲載する予定です。

## 大会宣言

東京土建一般労働組合第79回定期大会は、物価高騰により庶民生活が厳しさを増すなか、「第三次担い手3法に基づく請求要求運動での処遇改善」「就労確保と人手不足への対応」「建設国保の育成強化」「基礎組織の確立と拡大で11万人復活と組織増勢」「軍拡路線の転換と、国民生活を守る政治を求め」「平和や国民の権利を保障、憲法を守る」などを運動の柱に議論を行ない、新たな運動方針を確立しました。

昨年、実質賃金は円安による物価高に賃金上昇が追い付かず、連続して前年を下回りました。日本企業は中小を中心に企業倒産が増加、建設業も資材高騰や人手不足などに苦しんでいます。高市政権の積極財政は無軌道な国債発行による財政悪化の懸念により、円安が進み、金利が急騰、さらなる物価高騰と住宅ローンの金利上昇など、国民負担増となって私たちの生活を脅かしています。

社会保障政策では、政府は全世代型社会保障を掲げながら「公助」を縮小し、さらなる自己責任を押し付けようとしています。土建国保への補助金は、財務省を通じ年々削減への圧力が強まり、医療保険一元化への流れは一貫として続いています。選挙で示された民意である消費税減税は遅々として進まず、インボイス制度の負担軽減措置は延長されましたが縮小し、事業者の負担は増加します。さらに、大軍拡を推し進めるための所得税増税など国民負担を押し付け、ますます増税の流れは強まっています。一方、選挙で国民から審判が下された裏金など政治と金の問題は、自民・維新連立合意の下で、解決にはならない「議員定数

削減」という民意切り捨ての改選にすり替えられようとしています。

世界では国連憲章を無視した武力による現状変更が、ウクライナ、ガザなどに対して行なわれ解決の糸口が見つからない状況が続きます。日本では戦後80年の年に高市首相が台湾有事を煽り、安保3文書改定による軍事力強化、非核三原則の見直しなど、戦争できる国づくりが着々と進められようとしています。さらに、高市首相は突然、大義なき解散総選挙をしかけ、選挙戦では争点を曖昧にしたまま何の議論も行わず、小選挙区制という極めて問題のある選挙制度に乗じて、議会の3分の2以上を政権与党で占めました。そして今、選挙の争点にもならなかったスパイ防止法の制定や、戦前回帰の総仕上げともいえる憲法改選を強行しようとしています。私たちが本当に求めているのは、くらしや仕事の安定です。

このような情勢のなかで、100万人国会請願署名など私たちの運動の成果で、第三次担い手3法が全面施行され、「労務費に関する基準」とCCUSレベル別年取を明記させることができました。これを力に請求要求運動と学習を大きく前進させ、根拠をもって請求すれば賃金単価の引き上げは可能であるという事を共有しました。建設アスベスト訴訟1陣・2陣では、複数メーカーと17年に及ぶ勝訴的和解を勝ち取り、アスベスト給付金法の改正の土台をつくることができました。「建設アクション」運動では、各支部で相談活動を行ない、その要求をもとに全支部で自治体への要請行動を取り組み、公契約条例の制定等、制度政策の創設

と改善につなげました。八丈島の風水害など、頻発する自然災害に対して、応急修理や仮設住宅建設など力を発揮しました。各支部の地域貢献活動では地域住民の要求に応えながらコミュニティの再生、同時に社会保障や福祉、防災など政策の改善を求めめる運動につなげました。要求実現アクション運動では都議会議員選挙、参議院選挙、解散総選挙などに対して、私たち建設組合の要求を掲げて、仲間へ選挙への参加を促し、政治を変え要求実現する運動を進めました。また、様々な要求実現の基礎となる組織の強化と拡大運動では、短中期計画にもとづき、組織の拡大と実増に一丸となって取り組みました。

今、大手資本のルールのない利益追求と、労働者や小規模事業者の賃金単価引き上げ要求とのせめぎ合いは、現政権の新自由主義をさらに進める政策により、ますます強まる様相をみせています。また、議会で数の力にも言われた改憲への圧力は強まり、長い歴史の中で日本が築き上げてきた平和と民主主義、社会保障と基本的人権、労働者の権利を破壊する攻撃は、戦後でもっとも強まっていると言えます。

東京土建は戦後80年、先輩方が語った「二度と戦争のための工事はしないと決めた」を胸に日本国憲法を守り、それに根差した東京土建綱領をもとに、仲間の仕事とくらし、平和と民主主義、人権を守る運動を地域共同で進め、その要となる組織の強化・拡大の運動に全力で取り組むことをここに宣言します。

2026年3月16日  
東京土建一般労働組合 第79回定期大会

# 分科会で大会方針深める

大会2日目、後楽園ホテル、ホテル大野屋、ホテルサンミ倶楽部の3箇所に分かれて11の分科会を開催。各専門分野で昨年度を総括し、経験を交流と共に、建設産業の民主化を進め、組織を強く大きくする方針を討議しました。その内容を3～6面で報告します。

## 組織分科会

議長…深石 武史(中野)  
書記…高橋 哲也(八王子)  
大野 克宏(八王子)

### 「短・中期」2年目へ

#### 組織強化して結集高める

代議員38人、代議員以外の参加者22人の合計60人で開催しました。はじめに石川副委員長より組織部役員を代表してあいさつがあり、来賓として参加された徳島県建設労働組合の船戸書記長、福岡県建設労働組合の中森書記次長、



高橋議長

東京地評の井澤事務局長よりあいさつをいただきました。石川組織部長による提案では、25年度の取り組みとして、11万人組織回復を目指す「短・中期」5カ年計画の初年度の取り組みを振り返りました。全都で基礎組織の再生・



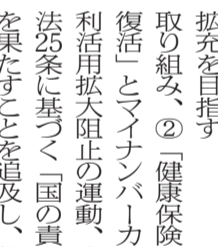
合計60人が参加した組織分科会。議案採択後は4支部を表彰

活性化を重視した取り組みがすすめられ、春・秋の集中月間では目標達成しましたが、「短・中期」初年度目標達成とならず、年間増勢に課題を残したことが報告されました。また26年度方針では、計画初年度の到達を踏まえ、2年目の課題として「支部実増目標」「ブロック実増目標」を打ち出し、「新3つの組織活動」を柱に組織強化をすすめることや、「分会活動経験交流集会」を26年度の第3期・12回目をもって区切りとし、第4期を発展的な取り組みへと具体化していくことが提案されました。



高木議長

また、江東支部から支部版分会活動経験交流集会の取り組み、中野支部から群・分会の活性化に向けた分会再編、府中国立支部から若い仲間の参加にこだわる拡大月間の取り組みポイントについて、提案を補強する経験報告がありました。



高木議長

質疑では、11点の事前質問について、①組織強化に力を入れていく必要があること、

## 社会保障対策分科会

議長：松本 勇一(府中国立) 東  
// 高木 仁実(江 東)  
書記：関 晃啓(江 東)

②脱退者の事情を具体的にたかむ必要性、③基礎組織に結集できない仲間の対策、④事業所の仲間の組合運動への結集のあり方について発言があり、執行部が回答しました。その後、代議員の拍手により組織部の議案は採択されました。議案採択後は、「短・中期計画」初年度目標を達成した台東支部、港支部、新宿支部、三鷹武蔵野支部の4支部が表彰され、石川組織部長のまとめを受け、11万人組織

## 土建第79回定期大会 社会保障対策分科会



あいさつする塩野部長(右)

に向けて、短・中期計画2年目を全都が一丸となって取り組んでいくことを、参加者全員で確認しました。

塩野部長(右)は、建設国保組合への補助金獲得に向けたハガキ要請行動において目標を達成した4支部を表彰しました。

続いて、4支部から優れた運動到達の報告がありました。町田支部は昨年度、国保組合の補助金獲得に向けたハガキ要請においてすべての要請で400%を達成。これについて各分会、支部役員による行動への積極的な参加で達成できた報告がありました。

中野支部は、建設国保育成強化に向けた議員要請について、組合の中には議員となりがちがある仲間がいること、議員との日常的なパイプ

## 「憲法25条」の責任を

### 大衆的な運動で追求しよう

今年度の重点として、①医療保険一元化の阻止、建設国保の育成強化、補助金現行水準確保・拡充を目指す取り組み、②「健康保険証の復活」とマイナンバーカード利活用拡大阻止の運動、③憲法25条に基づく「国の責任」を果たすことを追及し、社会

求め、中央・地域での交渉・要請行動の運動、⑥仲間のいのちと健康を守るために保健対策推進活動6項目について、それぞれ進めていくこと1位の獲得について、推進力

塩野社会保障対策部長より全体のまとめ、分科会議案の仮採択後、井上担当中央執行委員が「保険証を取り戻して、建設



## 大会参加の来賓の方々

- 全国建設労働組合総連合
  - 書記長 小倉 範之
  - 書記次長 松尾 慎一郎
  - 社会保険対策部長 中原 收
  - 東京地方労働組合評議会
    - 議長 矢吹 義則
    - 事務局長 井澤 智
    - 事務局次長 中村 修一
  - 全建総連東京都連合会
    - 執行委員 山本 享
    - 書記長 堀井 晶
  - 埼玉土建一般労働組合
    - 中央副委員長 鯉淵 太
  - 千葉土建一般労働組合
    - 書記次長 栗木 誠
  - 中央副執行委員長
    - 田中 浩昭
    - 海老原 秀典
  - 神奈川土建一般労働組合
    - 中央副執行委員長 横田 和彦
    - 書記次長 中間 忠良
  - 神奈川県建設労働組合連合会
    - 副会長 高橋 茂成
    - 書記次長 松本 啓
  - 群馬県建築業組合連合会
    - 書記次長 小林 謙二
    - 事務局長 森 千恵子
  - 山梨県建設組合連合会
    - 会長 関戸 務
  - 福岡県建設労働組合
    - 副執行委員長 堀内 浩二
    - 書記次長 中森 将武
  - 盛岡建設労働組合
    - 副会長 熊谷 仁志
    - 執行委員長 村橋 勇
  - 徳島県建設労働組合
    - 書記長 船戸 重司
  - 東京建築カレッジ
    - 校長 小林 謙二
  - 東京社会保険推進協議会
    - 事務局長 森 千恵子

# 厚生文化分科会

議長：縫村信秋(杉並) 横濱貢市(府中国立) 書記：島田明奈(府中国立)

## 火災地震を重点とし

### 各種共済の加入推進を提案



横濱議長

参加者は代議員24人、代議員以外の参加者13人の合計37人でした。小坂部長のあいさつの後、来賓の前進座俳優・江林智施さんよりの5月公演の訴えがありました。

昨年度経過報告ではメインスローガンから始まり、2025年度の火災・地震共済の加入促進の取り組みを述べ、自転車保険の1万件回復に向

ける取り組みや昨年度に開催した文化活動の詳細と共済をめぐる情勢について担当中執が分担任して報告。続いて、自分たちで育てる共済を意識した火災・地震共済目標達成の取り組み(台東支部、各分会に目標と主体性を持たせた自転車保険目標達成の取り組み(多摩西部支部)、何年かぶりに開催した、「競い合うのではなく楽しむ」をコンセプトにした運動会の取り組み(町田支部)、さがみ湖MORIMORIで行なったBQの取り組み(八王子支部)、などについて各支部が

病見舞金申請で医師の労務不能期間でも30日に1度の通院がないと給付の対象にならないのほなせか(多摩西部支部)、②のうち、銀行以外の銀行の振込を可能にしてほしい(足立支部)、③ホームページ上に、総合賠償責任保険などのパンフレットの新年度と昨年度の両方を閲覧できるようにしてほしい(港支部)、④D-LIFEなどの電子化が進んでいるが、自分は冊子状態の方を好んでいるので今の状態を維持してほしい(文京支部)、そのほか多くの意見・要望などが出され、執行部から答弁を行いました。

その後、小坂部長による討論のまとめを行ない、最後に分科会での質疑応答及び討論のまとめを含め大会議案を全体の拍手で承認しました。

## 税金対策分科会

議長：亀澤 明子 (村山大和) 林 武志 (葛飾) 書記：山澤 康平 (葛飾)



林議長



最後は拍手で議案の確認

代議員23人、代議員以外の参加者13人の合計36人の参加。まず山本書記次長、土橋税対部長よりあいさつ、その後、担当中執が分担任して議案を提案しました。

2025年度の取り組みと教訓の提案後、24人の方から、①インボイス制度をめぐり、確定申告とはそもそもどういう制度でどのように記帳

運動、②税務調査の対応、③税金関係の学習会や地域集金の取り組み、④その他税金対策をめぐり支部・地域の特徴的な取り組みの4点について支部報告を受けました。

府立国立支部から「青年部では独立したての部員が多く、確定申告とはそもそもどういう制度でどのように記帳が、のちに税務署から申告書が見つかると連絡があり、税務署が紛失していたと思われ事例があった」という報告がありました。

また中野支部からは「フリランスの会の小泉なつみさんを支部学習会の講師に招いた際に、『消費税について何もわからず、調べているときに土建運動や民商運動の記事

## 学習会をきっかけに 若い仲間が組合活動に参加

がものすごく参考になった」と講演の中で発言があり、自分たちの運動が多くの方に影響を与えているということに確信を持ち勇気をもらえた」と報告されました。

支部間の意見交換として、江東支部より「学習会の参加者が集まらない。他支部ではどのように集めているのか」との質問があり、西多摩支部から「学習会は社保、税金等でシリーズ化しており、情勢にあった内容で開催することで少しずつ話を聞いてくれるようになる。また参加しやすい日程や時間などに設定して開催している」と発言があり、足立支部からも、「税金だけじゃなく仕事対策部と事業所対策部の取り組みと合わせて学習会をした」との発言がありました。

## 後継者対策分科会

議長：半澤 信司 (新宿) 村石 光尚 (西多摩) 書記：小林 裕基 (西多摩)

### 3カ年計画の最終年度は

### 熱量もって取り組む



村石議長



府中国立支部の小林さんによる支部報告

参加者は代議員25人、代議員以外17人の合計42人。2025年度の教訓として、①3カ年計画2年目の到達、また全支部が青年後継者世代を集める創意工夫の取り組みの実践と、部会の確立と分会・群に定着させるための各支部の

教訓、②基礎組織と運動させた前線面などについて佐藤専従常任が報告。阿部部長からは、中期3カ年計画最終年度となる方針として、①後継者対策部に所属する役員40歳代までの役員の比率を50%以上にすることを旨とする、②基

礎組織と一体になり、全世代丸となり成功した経験や、後継者世代による群会議オラクルについてなどの教訓を補足

た婚活パーティーに全都が一丸となり成功した経験や、後継者世代による群会議オラクルについてなどの教訓を補足

板橋支部や文京支部からの議案を補強する経験報告があり、質疑が行なわれた後、5支部から以下のような内容で、活発な経験報告がありました。

①後継者対策部の機関紙発行にあたり、何をしていたからどんなことに取

り進むかについてまずは知りてもらう必要性(西多摩支部)、②地域集金は夕方設定することで、ふだん顔の見えない仲間からの参加を勝ち取った経験(豊島支部)、③子ども食堂を継続するなか、「食堂のおじちゃんだー!」

と呼ばれるくらい認知度を地域に広げ自治体の補助を獲得した経験(府中国立支部)、④ことも食堂を「みんなの食堂」という名称に変え、誰でも参加しやすいような位置づけを目指している(三鷹武蔵野支部)、⑤ことも食堂から地域で東京土建のイメージアップにつながり、住宅相談で仕事につながった経験、また後継者世代として軍事基地がある沖繩への視察、東日本大震災の復興の現状を知る取り組みなど(調布支部)。

最後に、後継者対策部の発展を全体で確認、大会議案を承認し、閉会しました。



厚生文化分科会のようなす

# 仕事対策分科会

議長：秋元 正真 (世田谷)
〃：戸口 茂司 (町田)
書記：橋本 航 (町田)



戸口議長

参加者は代議員32人、代議員以外の参加者15人、来賓1人の合計48人。はじめに、熊

## CCUSの活用など

### 活発な質疑応答で経験交流

切書記次長よりあいさつ。その後、各担当中執、担当専従、次長より2025年度の総括と、26年度方針を提案し、総括と方針に分けて質疑討論へと移りました。

さらに、八丈島台風被害の動画視聴を行ない、その後、議案を補強するものとして支部経験報告を受けました。江東支部から『地域とともに住宅センターを中心とした様々な活動』。小平東村山支部より『地域と一緒に自治体要求』の報告を受け、経験交流を進めました。質問、意見は、3人から出され、活発な分科会となりました。

主な質疑応答は以下の通りです。足立支部の「悪徳業者の排除という面において、CCUSが本場に必要なのか」との質問に、本部からは「国

がポータルサイトで公表している労務費の基準やCCUSのレベル別年収が目安となる。町場においても標準労務費が施行され、発注者(施主)と価格交渉を行なう上での1つの基準としてRECAACOおよびCCUSの活用が有効であり、本部としても学習会

等を開催して推進していく」と回答しました。続いて、板橋支部より「仕事確保について具体的に教えてほしい」とあり、回答としては「東京土建は業者組合ではなく、労働組合であり、住宅デーや災害活動等、地域住民及び地域の友好団体との結びつきで信頼

を作り、住宅相談や仕事確保につなげていく運動を進めていきたい」としました。

さらに、小平東村山支部より「現在不足している業者の調査による見える化が提起されているが、業者の規模感や丁場等の詳細な情報までリサーチしていく必要があるのではないかと」との意見には、「登録組合員の詳細を見える化している支部も数支部あるが、多様な住宅要求に対応するため、まずは不足している職種を明らかにし、住宅センター登録を促すためのアプローチを探りたい。その最初のステップと考えている」と回答しました。

加えて熊切次長より、事前質問として配布された日野支部、目黒支部の内容について会場にて回答しました。

最後に井澤中執より討論のまとめの後、議案の採決へと移り、満場一致の拍手で仕事対策部の議案、並びに分科会スローガンの仮承認を受け、終了しました。



質問する足立支部の三本木さん

府中国立支部の村松代議員からは、事前質問として出された「ペーパーレス化」についての質問が読み上げられ、執行部から答弁がありました。足立支部の布川代議員からは「仲間が仲間を動かす機関紙づく

## 教宣・学習制度化分科会

議長：高木 一 (日野)
〃：石井 徹 (大田)
書記：瀬川 直樹 (大田)

参加者は、代議員・本部役員が26人、代議員以外の参加者が9人の合計35人でした。はじめに、小倉

後、質疑に移りました。機関紙コンクールにおいて新設された敢闘賞の受賞につ

されたが、分会の選出はなかった。新年度は分会等の機関紙からもしっかりと選んでい

の規定違反があったのではなかった。昨年は規定違反はなかったと思う

ました。府中国立支部の村松代議員からは、事前質問として出された「ペーパーレス化」についての質問が読み上げられ、執行部から答弁がありました。足立支部の布川代議員からは「仲間が仲間を動かす機関紙づく



石井議長

## 10分会が永年表彰に

### 労働学校は開催促進させて

「選挙」における新聞報道の変化」等の情勢の特徴が報告され、吉川専従常任からの活動方針提案の

いて、江戸川支部の田嶋代議員から質問があり、「2025年度は支部の敢闘賞は選出

きたい」と答弁がありました。また、メーデーデコレーションの制作で、長さ制限等

が、そういうことがないよう事前にしっかりとアナウンスしていききたい」と答弁があり

多くの分会で機関誌発行が復活する原動力となった経験が報告されました。

江戸川支部の田嶋代議員からは「群三役分会四役の学習会の開催を集約した資料が見

「新年度に開催を促進するために、正確な現状の把握が必要。聞き取りを含めた支部からのアンケート集約を徹底す

る」と答弁がありました。代議員の拍手により仮承認したのち永年機関紙の表彰に移り、のべ10分会の表彰が行なわれました。



永年機関紙表彰を受ける江戸川支部の緒方教宣部長 (右)

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

# 賃金対策分科会

議長：小田澤 陽一 (清瀬久留米)
〃：木城 幸二 (江戸川)
書記：藤井 文理 (江戸川)



木城議長

参加者は代議員28人、代議員以外の参加者15人の合計43人でした。

はじめに、賃金対策本部役員を代表して榎山部長が、本部役員を代表して松本副委員長があいさつ。続いて、来賓の村橋徳島県建設労働組合中央執行委員長よりあいさつをいただきました。

担当中執が分担任して議案を提案、新年度方針では、第三次担い手3法を仲間知ら

せ、請求・要求運動を発展強化すること、地域の守り手(建設従事者)の処遇改善をはかる担い手3法への理解を町場に、施主に広げること、PALの属性把握とともに職種別会合を具体化すること、これら運動で労働協約に接近することなどが提起されました。

議案提案の後、渋谷・伊藤代議員、杉並・高取代議員が請求・要求運動を報告。渋谷支部は、担い手3法は使ってこそ力になると請求・要求アンケートを継続的に実施、季節ごとに運動の山場を作り、賃金と尊厳を守る運動を進めていきます。

また、直近の3月議会で公契約条例が可決成立した大田区、府中市での運動を、大田

増山代議員、府中国立・中村代議員が口頭報告しました。経験報告を通して、賃金運動の前進を確認しました。

討論では、見積書や建退共の学習会、町場や住宅現場での担い手3法の周知、労働者供給事業の賃金、労働協約などについて、活発に質疑、討論がなされました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。



小平東村山支部の三輪さんによる経験報告

せ、請求・要求運動を発展強化すること、地域の守り手(建設従事者)の処遇改善をはかる担い手3法への理解を町場に、施主に広げること、PALの属性把握とともに職種別会合を具体化すること、これら運動で労働協約に接近することなどが提起されました。

杉並では、PAL役員は請求要求の経験を部会内に留めず、支部「賃金・単価UPシンポジウム」を開催、経験を共有して進めてきました。多摩北ブロックPALの会の学習交流会、現場宣伝について、連帯がより大きな力を発揮した経験が小平東村山・三輪代議員から報告がありました。

## 3法を仲間に知らせ

### 請求・要求運動を発展強化

続いて、昨年制定の公契約条例(豊島区、三鷹市)にかかわる運動を豊島・澤田代議員、三鷹武蔵野・佐々木代議員が報告、櫻井本部PAL副会長(多摩・稲城代議員)が本部PAL総会の報告とみなさんへの訴えを行いました。

また、直近の3月議会で公契約条例が可決成立した大田区、府中市での運動を、大田

増山代議員、府中国立・中村代議員が口頭報告しました。経験報告を通して、賃金運動の前進を確認しました。

討論では、見積書や建退共の学習会、町場や住宅現場での担い手3法の周知、労働者供給事業の賃金、労働協約などについて、活発に質疑、討論がなされました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

議論を踏まえて、請求・要求運動をすすめる、賃金運動を求め、新年度方針を含む議案を拍手で確認し、終了しました。

# 技術対策分科会

議長：佐藤 忍(目黒) 知子(渋谷)  
書記：田中 徹(渋谷)



佐藤議長



議案提案する西岡専従常任中執待遇

## 4支部5人から質問意見 施設移転状況も報告

参加者は、代議員23人、代議員以外の参加者20人の合計43人。市川部長、東京建築カレッジ小林校長のあいさつの後、2025年度の活動と教訓、26年度の運動方針の提案、技術研修センターの事業報告を行いました。

次に事前質問について「質疑応答まとめ」の説明と補足説明を行いました。その後の質疑では、質問や意見が4支部5人から出されました。

足立支部から「センター開催の講習は少人数・赤字でも開催してほしい」との要望に対し「この間の経過を説明し、今後の部会で検討していく」と回答しました。

小金井国分寺支部からは「公開講座の『豊から考える』職人の手わざが生きる新しい建築空間」で実地講習を行なったのかとの質問に対し、時間的に実地を行なうことはできなかったと回答しました。

板橋支部から「熱中症予防管理者教育と保護着用管理責任者講習を現在の支部講師団が行なう講習に追加してほしい」との要望に対しては、熱中症予防管理者教育は、センター講師が支部開催にも対応することを説明し、保護着用管理責任者講習は、専門性が高い講習のため、外部の衛生専門講師でないとは難しい旨を回答しました。

足立支部から「CCUSについて、大手従事者は現場に入るため、強制的に登録させられているような印象を組合員から聞いている。技能者が主体的に登録するような前

# 財政分科会

議長：南雲 正博(小金井国分寺) 江原 大助(柏) 江原 那央(柏)  
書記：高橋



蒲原議長

代議員本部役員が34人、代議員以外の参加者8人、合計42人の参加で開催。

冒頭、中村委員長と北川書記長のあいさつがあり、その後石村副委員長より「財政は運動の要であり支えであるので、財政を安定させることが東京土建の運動の発展と広がり、成長につながる。組合費という大切なお金を有効にかせるように今日は活発な議論をお願いします」との分科会開催にあたってのあいさつがありました。

その後、執行部より財政分科会議案の一括提案と決算・予算案、事前質問の回答、大会資料の説明が行なわれました。

経過報告では、本部および支部の財政状況、財政健全化、確立と組織強化、滞納対策などに触れ、訪問・対話により仲間の状況把握と寄り添うことの重要性が強調されました。

方針では、労働組合における財政活動の基本原則を確認。あらためて財政運営の健全化や滞納対策に努めました。

予算の特徴では、本部費改定についての経過と方針の予算案が示されました。

支部からは、練馬支部から支部財政部の運営、中野支部からは組織のバロメーター、三鷹武蔵野支部から納入方法と納入率向上にむけて、小平東村山支部から組織強化と財政活動について報告がありました。

最後に石村副委員長の団結カンパニーで分科会を終了しました。

「拡大が財政を支えるうえで重要。今回の本部費改定も8年連続の組織減少が大きい影響している。皆さん各支部に戻られたら拡大運動をはじめとする組合運動への一層の協力をお願いします」とのまとめがあり、全体の拍手で財政分科会議案を承認し、2025年度の決算及び26年度の予算案の仮承認を行ないました。

最後に矢吹財政部長より「拡大が財政を支えるうえで重要。今回の本部費改定も8年連続の組織減少が大きい影響している。皆さん各支部に戻られたら拡大運動をはじめとする組合運動への一層の協力をお願いします」とのまとめがあり、全体の拍手で財政分科会議案を承認し、2025年度の決算及び26年度の予算案の仮承認を行ないました。

## 拡大が財政を支える 組合運動への一層の協力を

# 労働対策分科会

議長：渡邊 浩志(北) 石川 忠(足立) 書記：大久保 努(足立)



石川議長

参加者は、代議員・本部役員22人、代議員以外14人、来賓1人の合計37人でした。

はじめに、全建総連松尾書記次長より、来賓のあいさつ

があり、数十年ぶりの労働保険法改正による一人親方労働制度の要件厳格化などの情勢報告、熱中症などの労働安全衛生対策、アスベスト訴訟の

## 動画を2本上映し議案補強 他人事から自分の事へ

読み取りの訴えがありました。

続いて、川口労働部長、担当中執、砂川専従から労働対策部の議案提案を行ない、補強として、「再読影事業の取り組み」と「自治体のアスベスト対策をクロスアップしたニュース」の動画を2本を視聴し、理解を深めました。

また、会場から、アスベスト原告団の吉田共同代表より、自身の自治体でのアスベ

る労災認定を勝ち取った、板橋支部の取り組みの報告と、品川支部、葛飾支部からも申請の経験報告を受けました。

西東京支部からは、アスベ



提案に集中する参加者

報告がありました。

多摩西部支部からは、事業所との対話行動からつながった労働者供給事業の労働協約締結の報告を受けました。

最後に、労働対策分科会議案を代議員の拍手により確認し、仲間が安心して働ける建設業を目指して、団結カンパニーで意思統一しました。

最後に、労働対策分科会



アスベスト原告団の吉田共同代表による経験報告

# 総がかり イランへの攻撃、批判

## 1万1千人が国会に集結



国会前は参加者とペンライトで溢れた

高市首相が訪米中の3月19日、「9条改憲NO!総がかり行動」が行なわれ、1万1000人(主催者発表、東京土建は41人)が国会議員会館前を埋め尽くしました。

菱山南帆子さんは主催者あいさつで、イスラエルとアメリカによるイラン攻撃を強く批判し「日本が米軍の出撃拠点となっている現状は、平和憲法を持つ国として許されない」と述べ、加えて貧困や生活困窮の実態に触れ、「憲法25条が保障する生存権が十分に

約1・6倍になる見込みだ。高額療養費制度の上限額も引き上げられ、年収620万円では8万円強から10万円以上に増える可能性がある」と政府の施政を批判しました。

市民スピーチでは、松村美香さんが国際協力の経験から「戦争の現実と日本の平和の価値」を語りました。最後に主催者側は、運動継続への協力を呼びかけ、「市

# 新宿駅で呼びかけ

## 従来の保険証を残して

マイナンバー制度反対連絡会は3月12日、新宿駅前で、政府が従来の健康保険証を廃止し、マイナンバー保険証への移行を強行したことに対し、保険証の存続と併用を求めて署名を呼びかけました。全体で45人、東京土建からは38人が参加しました。



足を止めての署名協力

東京土建国保組合の池田直隆事務局長は「政府はOTC類似薬の自己負担引き上げ方針を示し、薬代は

理は「マイナンバー保険証は依然として約4割の国民が利用しておらず、特に75歳以上の高齢者では利用が伸びていない。また約7割の医療機関でトラブルが発生し、有効期限切れ、読み取り機の接続不良や認証エラーなどが報告されている。このため保険資格が確認できず医療費を一時的に全額負担する事例もある」と指摘しました。

前進座 山田洋次、元AKBも 「お久文七恋元結」

2026年5月30日(土)～6月7日(日) 東京・池袋 サンシャイン劇場

# まだ乗り越えるべき壁が 解決まで闘おう

3月17日、建設アスベスト4陣(ヌーカ)期日に合わせ、被害の全面救済を求める地裁前集会および報告集会が行なわれまし

建設アスベスト4陣(ヌーカ)期日に合わせ、被害の全面救済を求める地裁前集会および報告集会が行なわれまし

# アスベスト

全建総連の田久労働一訴訟の成果に触れながら、今後の展望について「これまで十分に認められてこなかった部分も含め、改めて主張し勝ち取っていくことが重要」と述べました。そしてアスベスト被害の現状について「労災認定の66%以上が建設業

# 前進座 山田洋次、元AKBも 「お久文七恋元結」

山田洋次監督の傑作「お久文七恋元結」の上演が、前進座創立九十五周年記念公演として、山田洋次監督書き下ろし

【厚生文化部発】前進座春の公演は、山田洋次さんが監修脚本を担当する「お久文七恋元結」を上演します。落語で人気の人情噺「文七元結」のアナザーストーリーとなる作品です。今回は、お久役に元AKBの横山由衣さんが出演し、元気と力のわく新喜劇をお届けします。共済会では、補助を拡大して取り組みます。

【日時】5月31日(日) 午後2時30分開演

【会場】池袋サンシャイン劇場

【観劇料】一等席1万1000円を6500円(共済会補助)

メッセージ

東京土建一般労働組合 中央執行委員長 中村 隆幸 様

第79回定期大会の開催おめでとうございます。みなさまのご活躍に心から敬意を表すとともに、日頃からの労連会に対する深いご愛顧、ご支援に厚く御礼申し上げます。

建設業を取り巻く情勢は多くの不安をかえ、仲間の仕事とくらしは依然として厳しい状況にあります。建設労働者・職人の生活と権利を守り、未来ある建設産業を築いていけるよう、ともに頑張ります。

貴組合のより一層のご発展と、みなさまの益々のご向上をご祈念申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

2026年 5月 15日

全建総連建設労働組合連合会 執行委員長 中村 隆幸 T 031-4153 各労働局4時 43-2311

第79回 定期大会にメッセージをいただきました

- 全建総連関係の県連・組合
- 全建総連北海道連合会
- 秋田建設労働組合
- 全建総連福島
- 山形県建設労働組合連合会
- 新潟県建設ユニオン
- 東京建設従業員組合
- アーキエクトン奈良
- 高知県建設労働組合
- 鳥取県建設労働組合
- 兵庫県建設労働組合
- 奈良県建設労働組合
- 首都圏建設労働ユニオン
- 杉並建設労働組合
- 東播建設労働組合
- 建設山口
- 愛知県建築組合連合会
- 茨城県建築連合会
- 日暮里建設労働組合
- 香川県建設労働組合
- 東京南部建設技能組合
- 岐阜建設労働組合
- 長崎県建設労働組合
- 滋賀県建築組合
- 佐賀県建設労働組合連合会
- 和歌山建設労働組合
- 横浜建設一般労働組合
- 大阪建設労働組合
- 熊本県建築労働組合
- 宮崎県建設労働組合
- 阪神土建労働組合
- 全愛知建設労働組合
- 兵庫県建設労働組合連合会
- 大分県建設労働組合
- 岡山県建設労働組合
- 島根県建築組合連合会
- 広島県建設労働組合
- 三重県建設労働組合
- 長野県建設労働組合連合会
- 田川建設労働組合
- 全京都建築労働組合
- 建設埼玉
- 栃木県建設労働組合
- 岩手県建設労働組合連合会
- 都知事・政党(会派)
- 東京維新の会
- 公明党
- 日本共産党中央委員会
- 全全国商工団体連合会
- 国鉄労働組合首都圏本部
- 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟東京都本部
- 原水爆禁止東京協議会
- 全国じん肺弁護団連絡会議
- 全日本建設交通一般労働組合
- 東京都教職員組合
- 特定非営利活動法人 建設政策研究所
- 職業性疾患・疫学リサーチセンター
- 東京公害患者と家族の会
- 全日本建設交通一般労働組合東京都本部
- 自由法曹団東京支部
- 東京都産業労働局雇用就業部能力開発課
- 全労働省労働組合
- 憲法改悪阻止東京連絡会議
- 国土交通労働組合中央本部
- 国土交通労働組合関東建設支部
- 東京自治問題研究所
- 東京自治体労働組合総連合
- 東京母親大会連絡会
- 東京民主医療機関連合会
- 農機運動全国連合会
- 平和・民主・革新の日本をめぐす東京の会
- 全国労働組合共済連合会
- JMITU東京地方本部
- 映画演劇労働組合連合会
- 東京23区自治会協議会
- 日本電波ニュース社
- 社会医学研究センター
- 三多摩国民春闘共闘会議
- 全国労働組合総連合
- 東京水道労働組合
- 全国建設関連産業労働組合連合会
- 日本国民救援会東京都本部
- 株式会社さかんし
- 中央労働金庫
- あかつき印刷株式会社

第79回大会で

表彰された仲間たち



退任のあいさつをする松本久人さん

支部推薦功労者

- 波平 永(足立) 滝澤 清子(足立) 堀内 智広(足立) 佐々木 光博(足立) 大塚 誠(足立) 野口 定彦(足立) 藤野 美和(足立) 三本木 拓馬(足立) 青木 大和(足立) 佐藤 仁一(荒川) 竹達 浩(荒川) 秋山 美穂子(葛飾) 遠山 毅(葛飾) 宇佐美 正治(葛飾) 伊藤 兼夫(葛飾) 高橋 政樹(文京) 佐藤 郷志(文京) 三朋 正彦(台東) 平井 正弘(台東) 小澤 健太郎(墨田) 鈴木 幹子(墨田) 間船 佳世子(墨田) 玉井 純二(江東) 錦織 キイ子(江東) 落合 徳(江東) 柴田 寿己(江戸川) 太刀川 慶一(江戸川)

- 鈴木 正吾(江戸川) 高橋 浩一(江戸川) 倉持 栄一(江戸川) 峰島 啓蔵(江戸川) 西潟 泰子(江戸川) 石橋 和夫(江戸川) 花輪 正(板橋) 吉福 昌征(板橋) 白井 理八(豊島) 佐藤 和也(豊島) 宮下 幸則(北) 富張 哲夫(北) 井上 榮治(北) 橋本 修一(練馬) 笹原 きぬ子(練馬) 本間 儀一(練馬) 坂大 和子(練馬) 矢吹 光英(練馬) 田中 竹男(練馬) 杉山 学(港) 松浦 弘恵(港) 中橋 英二(品川) 大西 拓(品川) 石井 伸弥(品川) 山田 弘(大田) 岐津 庄次(大田) 平野 政明(大田) 古川 貴之(大田) 平 妙子(目黒) 梅澤 久仁子(目黒)



機関紙賞を受賞した練馬支部の三角教宣部長(中央)と今津担当書記(右)

- 小泉 三郎(渋谷) 新井 和明(渋谷) 鈴木 広子(渋谷) 佐久間 法博(世田谷) 海沼 満(世田谷) 遠藤 貞男(世田谷) 五十嵐 利子(世田谷) 北島 啓一郎(世田谷) 伊藤 賢司(新宿) 武田 武(新宿) 熊谷 訓行(中野)

- 廣瀬 太俊(中野) 市川 浩一(中野) 津田 めぐみ(中野) 佐々木 守(中野) 石川 浩昭(杉並) 佐藤 勉(杉並) 大淵 修(杉並) 鎗田 登美雄(杉並) 小林 敏明(三鷹武蔵野) 東山 文彦(三鷹武蔵野) 薬師寺 拓磨(狛江)

- 海藤 佑樹(調布) 佐野 龍一(調布) 村山 豊(調布) 高橋 拓真(多摩西部) 浅田 征子(多摩西部) 森屋 勝江(多摩西部) 綾井 晴善(多摩西部) 清水 猛(西多摩) 山中 正巳(西多摩) 吉野 哲也(西多摩) 中平 大地(西多摩) 古谷 文夫(小金井国分寺) 中野 忠(小金井国分寺) 松澤 正雄(府中国立) 瀬沼 行彦(八王子) 橋本 晋二(日野) 西村 滋雄(日野) 高橋 啓介(日野) 高木 孝幸(多摩・稲城) 小出 賢(多摩・稲城) 長谷川 健一(小平東村山) 岡田 健悟(小平東村山) 佐々木 茂巳(小平東村山) 伊藤 康裕(清瀬久留米) 畑田 義次(清瀬久留米) 唐鎌 昭二(西東京) 金井 高久(西東京) 荒幡 重雄(村山大和) 酒井 早弓(村山大和)

主婦の会推薦

- 花城 久美子(中野) 三富 照子(中野) 浅田 征子(多摩西部)

書記表彰

〈5年〉

- 山澤 康平(葛飾) 日暮 幹成(葛飾) 名越 秀和(江東) 関 晃啓(江東) 今津 佑介(練馬) 今井 あすか(品川) 木下 和哉(品川) 北林 哲(目黒) 池田 昂平(渋谷) 木竜 勝也(世田谷) 岸 達郎(中野) 山浦 綾(中野) 保坂 達也(足立) 佐藤 慶子(葛飾) 奈良 憲成(練馬) 名古屋 友和(中野) 高橋 那央(狛江) 吉野 直貴(多摩西部) 小宮 翔(府中国立)

職員表彰

〈5年〉

- 小椋 美梨(江戸川) 小宅 沙耶(西多摩) 森田 美千代(八王子)

国保組合感謝状

高井 くれは

- 星野 裕介 大湊 善貴 窪川 真緒 小嶋 麻夏 \*敬称略

退任役員のみなさん

【松本さんのあいさつ】私は2016年に本部へ来ました。18年、19年は選挙もあり、振り返れば波乱に満ちた10年間でした。44年前に組合に入った当時、もっと賃金をもらえないのかと思っていました。

病氣もりましたが、当時は10割給付で、1カ月も入院して請求書が0円でした。まだ22歳ぐらいの時、大変助かりました。病気を克服し「俺も一肌脱いで拡大をがんばるぞ」と、いろんな仲間を声をかけました。素晴らしい国保と組合を大きくしていかなくてはと思っています。

東京一大きなこの労働組合を若い世代にお願いし、よい東京土建を作ってもらいたいと思っています。

【退任し名誉中執を授与された方(敬称略)】松本久人(江戸川)、塩野操(大田)、奥村歳久(文京)、福岡忠行(練馬・77大会で退任)、伊藤賢司(新宿・77大会で退任)

【特別教育など】玉掛5月14日(木)金土、西多摩支部会館、2万4千円

【建設機械】新入職者教育(法定の「雇入れ時教育」の一部と、石綿特別教育・振動工具の2つの従事者教育も実施)6月4日(5日)木金、池袋、1万円

資格講習 申込み、問合せは各支部技術担当者へ

★池袋II技術研修センター 【作業主任者】足場5月20日(水)21日(木)池袋、1万2千円



塩野さん



奥村さん



福岡さん



伊藤さん



鎗田さん